



医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

特集:

公立置賜川西診療所から

診療所長
小山隆信 ……1

地域医療連携の
動き ……2

公立置賜総合病院
の活動紹介 ……3

院長コラム ……3

医療連携・相談室
からのお知らせ ……4

公立置賜川西診療所から

診療所長 小山 隆信

診療所にお世話になって間もなく2年になるうとしています。この間、患者さんやドクター、スタッフの皆さんの寛容とお力添えに支えられながら、何とか仕事を続けていくことができました。厚く感謝申し上げます。

以前は、電子カルテとは無縁に過ごしてきました。しかし、小生が診ている患者さんが急に

総合病院に受診する場合があります、小生の記録でもないよりはあった方がよいのではないかと思います、昨年6月から電子カルテを使い始めました。何せ六十の手習い、手元覚束なく打ち込みに時間を要し、限られた使い方しか出来ません。ただし、自分にとっても思わぬメリットがあり、総合病院の先生方に教を請う時のツ



ールとしてとても重宝しております。

連携マニュアルで“サテライトから総合病院に急な診察を依頼する場合、午前11時半までは当該科に直接依頼する”ことになっています。しかし、小生の見立ての未熟さから、時々見当違いのご紹介をしてしまいます。ご寛容の程、お願い申し上げます。

診療報酬の規則で、開設者が同一の医療機関の間の紹介加算は認められず、病院組合がそれに該当することが分かりました。結果

として、総合病院の紹介率を維持するために、診療所からの紹介を躊躇してしまうようなことが起こりかねません。改善を求めて行かなければならないことではないかと考えています。

私事になりますが、診療所に赴任後二年続けて二つの癌が判明し、最初のは手術を受け、二つ目は放射線治療を控えています。声を掛けていただいた医療監をはじめ、直接、間接に応援をいただいている先生方、スタッフ

の皆さんには誠に申し訳なく感じております。後任の目処がつかか、病院組合にとって自分があることによるデメリットの方が大きくなるまでは、今しばらく仕事を続けようと思っております。よろしく願い申し上げます。

5大がん地域連携パスの運用開始について

かかりつけ医でがん地域連携パスに参加されると、手術病院(専門医)に情報提供時に加算が可能となります。

【がん診療連携計画策定料】
退院時に算定:750点



手術病院



かかりつけ医

【がん治療連携指導料】
手術病院に情報提供時、
月1回算定:300点

平成23年4月より、山形県で5大がんの地域連携パスの運用が開始されます。

その準備として、山形県がん診療連携協議会より大泉弘幸先生(山形大学第二外科准教授)、今野美雪先生(山形県立中央病院主任看護師)を講師としてお招きし、連携パス研修会を1月24日に開催致しました。院内外より約100名のご参加をいただきありがとうございました。

このがん地域連携パスは、がん診療連携拠点病院と地域の病院・診療所が患者さんの診療計画・検査結果・治療経過を共有し、**協働・役割分担を図るツール**として活用することを目的としています。

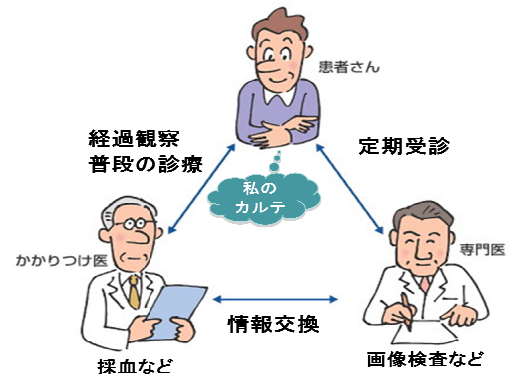
このパスを運用することで、医療機関では役割分担・情報の共有化、患者さんはがんだけではなく生活習慣病などの管理もしてもらえ、メリットがあります。

具体的には、【共同診療計画表】を患者さん、専門医、かかりつけ医間で共有することで計画・**継続的な治療**・診察を続け、患者さんには【私のカルテ】と呼ばれる冊子を渡すことで自分の状態を把握できるようにすると共に、専門医、かかりつけ医間での情報共有にも活用します。

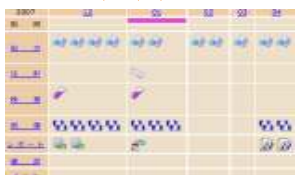
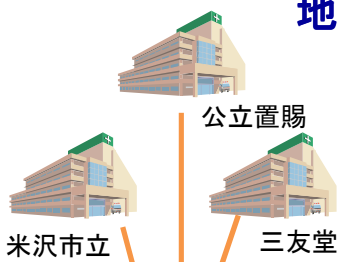
連携パスに参加するためには、【山形県がん診療連携協議会】【東北厚生局】に対して簡単な書類作成が必要となります。詳しくは、下記URL(山形県がん診療連携協議会ページ)をご参照いただくか、当院担当者までご連絡下さい。

【山形県がん診療連携協議会】
(山形県立中央病院ホームページ内)
<http://www.ypch.gr.jp/medicalpersonnel/cancerpartnership/index.html>

【公立置賜総合病院問合せ先】
医療連携・相談室 舟山、吉田
TEL:0238-46-5000(内線1409,1902)
E-mail: renkei@okitama-hp.or.jp



地域医療情報ネットワークシステム「ID-Link」研修会の開催報告



1患者1カルテ



参照施設

去る3月1日(火)午後7時から公立置賜総合病院大研修室で、「ID-Link」研修会を開催しました。

主催:置賜地域医療情報ネットワーク協議会
共催:置賜地域内3医師会、当院

院内外から約130名のご参加をいただき、感謝申し上げます。

◆地域医療情報ネットワークシステム「ID-Link」とは・・・

このシステムは、置賜地域内の複数医療機関にまたがる**医療情報を共有化**し、患者さんを中心とした一貫性のある**切れ目のない医療サービス**を目指します。

平成23年度中に公立置賜総合病院、米沢市立病院、三友堂病院の医療情報を、地域内の医療機関で参照することが可能となります。

◆参照可能な医療情報

患者基本情報、入院歴、処方・注射歴、検査結果、画像(放射線、内視鏡等)、検査レポート、診療情報提供書、サマリー
※病院により多少違いがあります。

◆システム利用・運用方法

Yahooのホームページが見れるパソコンが1台あれば利用可能です。

利用申請方法や運用方法等の詳細な情報は今後案内させていただきます。

不明な点は、各情報提供病院の連携室か、下記協議会事務局までお問い合わせ下さい。

【協議会事務局】
公立置賜総合病院 医療連携・相談室
吉田 TEL:0238-46-5000(内線1902)

糖尿病教室のご案内

糖尿病を持つ患者さんは年々増加し、それに伴う合併症医療費も増加しています。その中で、糖尿病は症状が乏しいことから、仕事や家庭のことを優先される方やたいした病気でないという思う方、食事のことなど他人からとやかく言われたくないと思う方など様々おり、医療機関から足が遠のいている方が多いのも現状です。また、糖尿病と一口で言っても、糖尿病患者さんの病態、病因、病状は一樣ではなく、個々に合わせた支援が必要といえます。

当院では、糖尿病専門医のもと、各職種の糖尿病療養指導士、糖尿病看護認定看護師、管理栄養士が、初期教育や糖尿病全般の集団指導（糖尿病教室）や個別指導などを行い、糖尿病患者の生活支援を行っています。糖尿病教室は、2週間を1クールとして行っており、糖尿病や糖尿病治療を行ううえでの正しい知識や新しい情報を知っていただくために、医師や糖尿病療養指導士を中心にわかりやすく説明しています。事前に連絡をいただ

けると、当院以外の患者様、糖尿病患者様のご家族の方も参加して頂きます。

また、栄養指導や生活指導、フットケア指導など個別指導は、ご紹介いただいてからとなりますが、初期教育だけでなく、糖尿病治療歴が長くても十分に理解されていない患者さんや合併症の見られる患者さん、治療法の変更が必要な患者さんへの各種指導を行っております。

今後、患者さんの病状に応じた適切援助が受けられるように診療連携体制構築の試み（厚生労働省健康局平成23年度予算案 糖尿病疾病管理強化対策事業）が、展開されていく予定ではありますが、ぜひ当院での糖尿病患者教育システムをご活用下さい。

糖尿病教室のスケジュールについては、当院栄養科までお問合せ下さい。



栄養士による糖尿病教室の様子

認定看護師の活動

当院に認定看護師は4名おり、高度な経験と知識を活かし、院内外で活躍しております。その活動の一部を紹介致します。

糖尿病ケア外来

糖尿病看護認定看護師 井瀨 奈緒美

患者様ご自身やご家族が、糖尿病を持ち生活する上での知識や生活調整方法、糖尿病治療に関する技術を身につけ、自己管理していくための支援を行うため外来で、毎週木曜日の午前中に行っています。

糖尿病の全般的な生活指導やインスリン自己注射指導、血糖自己測定指導、低血糖指導、シックデイ指導、フットケアなどを行っています。たとえば、初めて糖尿病といわれた患者様へ、糖尿病の一般的な病気の説明を行い、現在の生活の見直しを一緒に行います。自分自身で気をつけていることやできそうなことを指示し、今後の治療に必要なことを説明し、困っていることなど相談にのりながら支援していきます。



その中で治療を継続するためにかかりつけ医を持ちながら、自分自身の身体のことにも気を配っていただくようにお話をさせてもらっています。

また、生活するうえで足はとても大切なものです。糖尿病の合併症の有無に関わらず、健康的な生活を送るためには、何より足にも気を付けていただきたいので、フットケアのお話をします。日本人は、足に合わせて靴を選ぶというより、仕事や値段、見た目で靴を選び履きます。そのため、足には結構負担がかかっていますが、手や顔ほど足を良く見ないことが多いです。足を良くみる大切さ、足の手入れの仕方、爪の切り方などお話をします。

予約の仕方は、当院へご紹介していただいた後、担当医が予約をとります。

院長コラム

地域完結型医療に向けて

当院は現在、紹介率 60%以上を目標として努力しております。2月までの紹介率は 59%と 60%にもう1歩であり、医師会の先生方には Fax によるご紹介のお願いなど多大なご協力をお願い申しあげているところです。

この目的は地域完結型医療を定着させることです。地域完結型医療には医療機関の機能分担が必要です。当院の機能は急性期の入院医療にあり、かかりつけ医の先生からご紹介いただ

くことでその機能が発揮されます。急性期の診療が終了したならば、当然、かかりつけ医の先生に診ていただくこととなります。したがって逆紹介率も重要です。当院の逆紹介率は 30%台でしたが最近では 50%近くに上昇しています。逆紹介率をもっと上げる必要があります。

地域完結型医療の定着には、医療機関がその機能を充分果たしていくことが肝要です。今後とも地域の医療機関のご指導を賜り、当院の機能である急性期医療を更により良いものにするよう努めて参りますのでよろしくお願い致します。

公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地

TEL:
0238-46-5000

予約センターTEL:
0238-46-5700

FAX:
0238-46-5721

E-MAIL:
renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念
心かよいは頼と安心の病院

置賜広域病院組合

公立置賜総合病院

www.okitama-hp.or.jp

「出前研修会」を開催しています

地域連携の協力体制づくりには、病院で行われている医療の実際を理解していただくことが重要と考え、「出前研修会」を開催しております。

研修会を通して、各地域の包括支援センター、施設・事業所とコミュニケーションが取り易くなりました。その結果、退院支援の場面においても医療と福祉両者の情報伝達がスムーズになり、患者さんにも好ましい影響が現れているようです。

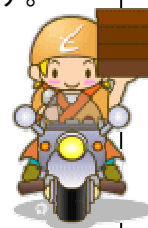
H22 年度実績：4 回開催し、計 149 名のご参加をいただきました。

今後の「出前研修会」は、認定看護師による研修会も可能となり、依頼される施設・事業所のご要望に則したものを準備し、出前をお届けしたいと思います。

【可能な研修会】腹膜透析、栄養、救命救急、糖尿病、感染対策
その他希望があればご相談下さい。

【申込先】公立置賜総合病院 医療連携・相談室
地域連携専門員 加藤敏子

TEL:0238-46-5000(内線 1410) FAX:0238-46-5721



患者さん紹介時のお願い

「かかりつけ医」がいる患者さんが当院受診時に、紹介状をお持ちにならない場合がございます。

待ち時間の短縮、スムーズな診療のため、予約センターで外来予約し、紹介状を作成していただきますようお願い致します。

